



Rainbow color communication

にじいろ通信

つうしん

一人はみんなのために みんなは一人のために



高千穂とコスモス

CONTENTS

- P2 中野診療部長 挨拶
- P3 第4回地域連携学習会の報告
- P4・P5 対談シリーズ「移転後の透析室の現状について」
(前村医師)×(竹下看護師長)
- P6 たまいクリニックと当院の連携について
- P7 訪問看護ステーションこくぶ・ヘルパーステーション
こくぶの紹介
- P8 2019年9月の外来体制



 鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

診療部長 あいさつ

message



循環器内科医 診療部長
中野 治

霧島、始良地区の患者さん、医療生協の組合員さん、医療機関のみなさま。2019年4月より、国分生協病院に帰ってまいりました、中野と申します。約13年ぶりに国分に戻ってまいりましたが、この間に、病院の建物は、新しく、広くなりました。私の方も、この地域で求められる力を身に付けるべく、心臓カテーテル検査、治療の専門的な知識を学び、経験を積むために、京都の舞鶴市の病院で研修させていただきました。その後、鹿児島生協病院に帰ってきて、診療にあたりながら、心房細動などの不整脈や、弁膜症といった手術を必要とする疾患など、循環器の領域について、幅広く経験してきました。循環器の領域のみならず、地域の方々が抱える様々な健康問題に対処できるよう、消化器や呼吸器、腎臓など、内科の各領域、さらには、小児科や外科などの領域の知識や経験も、少しずつ積み、総合的に対応できるよう心がけています。病院の建物は、きれいになりましたが、中身は、まだこれから充実を図らなければならないと思っております。

私自身は、宮崎県都城市の出身ですが、家族はずっと国分で育ちました。子供たちは、これから学び、成長していきます。未来に生きる子供たちがのびのび、すくすく育つことのできる霧島市に、そして、お年寄りをはじめ、すべての人たちが健やかに、自分らしく生きることのできる霧島市になるよう、私たちも、精一杯、力を尽くしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

第4回地域連携学習会

～防ごう!!! 誤嚥性肺炎～QOLの向上を目指して～

2019年8月21日（水）に、第4回地域連携学習会を開催しました。霧島・始良地域を中心に6医療機関14施設から、計77名の方々に参加して頂きました。

今回の内容は、「誤嚥性肺炎」をテーマに、①「誤嚥性肺炎の概要」（長谷医師）、②「誤嚥の摂食嚥下訓練の方法」（森言語聴覚士）、③「誤嚥性肺炎を防ごう」（山下集中ケア認定看護師）に関して、それぞれ講演を行いました。

病態に対する治療・予防方法、実際の口腔ケアの方法、嚥下プロセス、食事介助法等について詳しく講演させて頂きました。

参加者からは、「予防するポイントがそれぞれの職種の立場でわかりやすく、お話されていたので、とても参考になった」「寝たきりの方の口腔ケアに悩んでいたため、参加して本当によかった。施設に持ち帰り、ぜひ実践してみたい」等の好評な声を頂くことが出来ました。

今回の学習会をきっかけに、誤嚥性肺炎患者の予防をしっかりと在宅・施設でも行えるような環境になればと思います。

今後もこのような学習会を通して、地域（医療機関、在宅サービス、施設等）との関係作りを密に行い、霧島市の地域包括ケアシステムづくりに貢献していきたいと思います。

参加して頂いた職員の皆様、ありがとうございました。引き続き、当院との連携をよろしくお願いします。



会場の様子



長谷医師の講演



森言語聴覚士の講演



山下看護師の講演

対談シ

移転後の 透析室の現

腎臓内科担当医
外来医長

前村 良弘

あらゆる治療選択肢提示を行い、
患者さんの希望に沿った治療を
心がけています。



竹下：今回は、「新築移転後の透析室の現状について」当院腎臓内科医の前村医師と私竹下でお話をしていきたいと思えます。まず、今年4月に帰ってこられた前村先生の経歴について教えて下さい。

前村：鹿児島生協病院での初期研修の後、医師4.5年目で徳之島診療所で勤務。6.7年目に国分生協病院にて腎臓内科として勤務しました。昨年度は1年間東京慈恵会医科大学で腎病理、透析、移植などを学び今年度から再び当院にて腎臓内科を担当しています。



竹下：多くの経験をされてきた先生への期待はとて大きいかと思えます。現在の国分生協病院の医療活動を教えてください。

前村：外来では霧島・始良地区のCKDネットワークが構築されて以降、より多くのCKD患者さんをご紹介いただくようになりました。腎臓内科としては透析にならないようなCKD管理を目指しておりますのでより早期からフォローが可能になってきていることはありがたいです。糖尿病は腎代替療法の原因疾患として非常に多い状況です、地域の先生方と一緒に管理させていただいております。腎炎も自覚症状が少ないので健診や一般診療での拾い上げが重要で、当院でも腎生検を行って治療につなげております。

竹下：多くのご紹介を頂き、地域との関わりは本当に大切ですね。現在、透析室ではどのような医療をおこなっていますか。



回診の様子

リリース

状について

中材・透析室師長

竹下 誠志郎

今後も、地域の医療機関からの期待に応えられるように頑張っていきたいですね。



透析室スタッフ

前村：腎代替療法の導入時期から透析室スタッフが外来とも連携するように努めています。

いよいよ腎代替療法の導入を検討する時期にいった場合でも、重要な選択なのでできるだけご家族も一緒に時間をかけて選択肢提示（腎移植・血液透析・腹膜透析）できるように心がけています。実際に透析室にて血液透析や腹膜透析の様子を見学いただいています。それができた症例と、緊急透析で始まってしまいう症例では患者さんの予後や腎不全生活の受け入れに大きな差が生じます。

近年は腎移植の成績がよく、鹿児島大学病院と連携して移植が可能な患者さんには積極的に選択肢の提示を行っております。腹膜透析も鹿児島では患者数が増えています。適応のある方には非常にメリットの大きい治療で引

き続き普及に努めております。現在、当院の血液透析患者は 100 名弱、腹膜透析患者は 30 名前後となっています。また、当院は透析患者の送迎を行っていないため、送迎が必要な外来管理の方は、地域の透析実施医療機関にお願いしています。急な依頼に対しても、快く受け入れてくださり、本当に地域の先生方に支えられていることを実感しております。

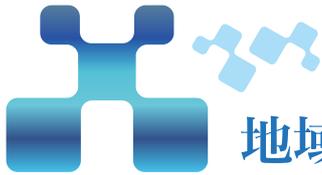
竹下：地域との連携は今後も必要不可欠ですね。国分生協病院としての今後の目標を教えてください。

前村：霧島地区は医療施設が十分とは言えません。当院の腎臓内科も、私と吉峯医師の 2 人で厳しい体制ですが、透析患者さんは合併症を抱えておられることも多いため総合病院である当院がお役に立てるように頑張りたいとおもいます。

今後も、当院との連携の程、よろしく願い致します。



透析担当 吉峯医師診察



地域の開業医の先生方より

～ 医療法人 健秀会 たまいクリニック ～

医療法人 健秀会 たまいクリニック 院長 玉井秀亀



1 当院の紹介

当院は、1991年5月に（当時は始良郡隼人町）に開業しました。14床の有床診療所です。泌尿器科と人工透析を主体に診療を行っています。泌尿器科の手術も行っていましたが、近年は、麻酔医の関係もあり、他病院へお願いしております。透析用のベッドは20床ですが、高齢、独居、認知など看護や介護の必要な患者さんは入院または隣接のグループホームへ入ってもらい維持透析を行っています。

2 国分生協病院との連携

泌尿器科関連の尿路結石、下部尿路疾患、悪性腫瘍などについては当院に紹介していただいております。透析患者さんについては、国分生協病院にて導入後の安定した方は、当院へ紹介していただいております。維持透析を継続しています。透析患者さんは、心、肺合併症、感染症、消化器疾患を有することが少なくありません。そのようなリスクのある重篤な患者さんは国分生協病院へ紹介させていただいてより高度で専門的な治療をお願いしております。

3 今後の当院の展望

近年、霧島市でも有床診療所は減少傾向にあります。当院の特徴を活かして今後も地域医療に微力ながら貢献してゆきたい所存です。





部門紹介～自宅での生活を支えます。

生協訪問看護ステーションこくぶ



当事業所は平成10年9月に開所しました。現在、看護師17名、理学療法士1名、事務1名の19名で業務にあたっています。

訪問看護は、地域で療養生活を送っている方へ、看護師がお住まいを訪問して看護を行うサービスです。現在0歳から100歳の方まで約110名の方の訪問看護支援を行っております。

人工呼吸器管理、気管切開管理、在宅酸素療法、人工肛門管理、点滴管理（CVポートなども対応）、褥瘡処置、腹膜透析管理、心不全管理、小児（育児支援等）など様々な支援を行っています。癌末期の方も近隣の開業医の医師と連携し、2018年度は12名の方の在宅看取りがありました。ご家族の方は、「最初は家では無理かなと思ったけど、看護師さん達が毎日来てくれるし、夜中でも相談できるので安心して過ごす事が出来、家で看取る事が出来て本当に良かったです」と言って下さいました。

地域包括ケアシステムにおいて、訪問看護師が担う役割は大きく、訪問看護師のスキルアップを行い、地域で安心して生活できるように利用者、ご家族の思いを尊重し、寄り添いながら支援していきたいと思っております。これからも地域の医療機関、他サービス事業所等との連携を強化しながら取り組みをすすめていきます。今後ともご指導を宜しくお願い致します。



生協ヘルパーステーションこくぶ



2001年、旧国分生協病院のデイケアの裏のプレハブからスタートしました。その後、旧国分生協病院の道路向かいに訪問看護と同じ建物に移転。2017年の新築移転にて、現在の場所に訪問看護、居宅介護支援事業所と同じフロアにて日々の業務を行っています。

介護保険の他、障害福祉サービスや自費サービスでの支援を行っており、霧島市を中心に訪問活動しています。高齢社会が進む中、近くに店が無い方、家族が遠方の方など疾患を抱えながら生活を送る高齢者・障害者が住みなれた自宅で生活出来るように、利用者様の尊厳を大切に介護の提供に励んでいます。そんな中、「いつもありがとう」や「ヘルパーさんが訪問してくれるので、安心できます」との言葉が私達の活力となっています。これからも、一人でも多くの方が住み慣れた自宅で生活できる、又、自宅での生活が継続出来るようにチーム一丸となって支援して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



受付時間変更に伴うお知らせ

国分生協病院 病院長 山下義仁

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院との医療連携につきましては格段のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当院は2019年4月1日より午前の一般内科の受付時間を変更しました。

受付時間は、8時45分～11時30分までとなりますので、ご周知の方、よろしくお願い致します。

敬 具

2019年 9月外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土	
午前	一般内科 (8:45～11:30)	中野	吉見	長谷	山下	吉見	交替	
	専門 外来 (8:45～ 11:00)	循環器	吉見	中野	吉見	吉見		
		呼吸器	山下	檜田祐一	隈元	檜田祐一	檜田祐一	
		消化器・肝臓		小坂元	小坂元		小坂元	
		腎・膠原病	前村(良)	吉峯		前村(良)		
		神経内科				武井		
	外科 (9:30～12:00)			税所		税所		
小児科 (9:00～12:00)	酒井	交替	酒井	酒井	【一般+特診】 玉江(第1) 森田(第2・3) 支援(第4)	交替 2週目休診		
午後	内科	14:00～17:00	檜田祐一	檜田祐一		久保	久保	
		予約のみ 15:00～17:00		山下(禁煙外来)		武井(神経内科) 小坂元(14:00～)	山下	
		17:00～18:30	交替	交替		交替	交替	
	小児科	予約のみ 予防接種/健診 14:00～16:00		(14:00～16:00) 交替 ※予約制:予防接種+健診		(14:00～15:30) 酒井 ※予約制:予防接種のみ	(14:00～16:00) 予約のみ 特診:玉江(第1) 森田(第2・3) ※第4週は休診 (森田のみ14:00～ 17:30)	
		16:00～18:30 (金曜は予約のみ)	(16:00～18:30) 酒井 (一般+予約)			(16:00～18:30) 酒井 (一般+予約)		

※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※C K Dネットワークに関する紹介は、腎臓内科担当医の予約を取って頂くよう、お願いします。

※内科の専門外来に関しては予約制となっています。予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させていただきます。



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話 (0995) 45-4806 FAX (0995) 45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>